

進路

2026

大阪府立長野高等学校



目 次

1・序 言	
2・51期生の進路状況	
3・令和8年度進路年間計画	
4・令和7年度（令和8年3月）進路状況	
5・令和7年度（令和8年3月）就職状況	
6・学校別合格一覧表	
7・合格体験記	

表紙

題字 河野紀昭先生筆
絵画 石川佳克先生筆

『一步踏み出すということ』

校長 熊本 道仁

皆さんは、自分の進路についてどのくらい考えていますか。私は高校生の頃、進路について真剣に考え始めたのは3年生になってからでした。当時はサッカーに明け暮れ、その競技実績を生かして推薦で大学に進学しましたが、その先のことまで十分に考えていたとは言えません。今振り返ると、もっと早い段階から自分の将来について考えておくべきだったと感じています。

大学卒業後も、プロや実業団を目指して活動を続けましたが、結果を得ることはできませんでした。将来がはっきりしないまま時間が過ぎていく中で、知り合いから「高校の体育教師を探している」という話をいただきました。これが私の人生の大きな転機となりました。

最初は「やってみよう」という軽い気持ちでしたが、実際に教壇に立つ中で、その仕事の面白さややりがいに気づき、次第に本気で向き合うようになりました。あのとき一步踏み出したことが、今の自分につながっています。

好きな歌の中に、「やれそうって思ったら、もうほとんどは乗り越えたようなもの」という言葉があります。進路選択において大切なのは、特別な才能や確信だけではなく、「やってみたい」「やれそうだ」という、自分自身の直感や好奇心を信じる勇気です。

だからこそ皆さんには、できるだけ早い段階から自分の進路について考え、さまざまな経験や出会いを大切にしてほしいと思います。その積み重ねが、いつか自分らしい選択へとつながるはずです。迷いながらも構いません。皆さんが踏み出すその一步を、心から応援しています。

51期生の進路状況と受験に向けて

進路指導部 竹川 和彰

今年3月に卒業した51期生の令和7年度の進路状況がまとまりましたので、お知らせします。

今年のトピックとして、学校推薦型選抜公募制と一般選抜において近畿大学の合格生徒が増加したことが挙げられます。例年以上に「最後まで努力を続けることで名の知られた大学に届く可能性がある」ということを証明してくれました。先輩の努力やメッセージが在校生の皆さんの励みになってもらえれば、大変嬉しく思います。

私立大学では、有名大学にも合格する先輩がいる一方で、なかなか志望する大学に合格できないというケースも多く起こっています。3年生になっても「やりたいことが見つからないので、希望進路が決定できない」という生徒も年々増加しています。「大学入試は全入時代である」とは言うものの、有名大学に人気が集中していることには変わりはなく、やりたいことが見つかった頃にはもう遅い！と手遅れになってしまうこともあります。

今後も厳しい状況は変わりそうにありません。目標が決まっていない人・入試方式を検討していない人・受験勉強を始めていない人は、1日も早くスタートを切ってください。受験勉強に特効薬はありません。毎日コツコツと勉強する。毎回の授業に集中し、しっかり復習して知識を定着させる。暗記すべきことはしっかりと暗記、忘れる以上に覚えていく。これしかありません。進学講習等も有効に活用しましょう。

共通テストも新学習指導要領に対応した出題範囲・科目に変更されてから、「教科書の本質的な理解」を問う問題が増えています。また、「読む・書く・聞く・話す」4技能が見られる英語外部資格の活用も多くの大学で広がっています。総合型選抜（旧AO入試）も「オープンキャンパス参加型」「自由応募型」「プレゼン型」などの種類が増え、志望理由書や面接の重要性も高まっています。日程の早期化にも注意し、時間に余裕を持って志望する学校の入試情報を確認しておきましょう。

これからは、学力だけでなく、高校生活でどれだけ本人が努力したかが問われるようになります。皆さんには、日頃からしっかりと「進学を見据えた勉強＝受験勉強」を早く始めるとともに、充実した高校生活が送れるよう期待しています。

【長野高校】 令和8年度 進路年間計画

最高目標・・・「自立する18歳」の育成
自分と社会との関係性を考えながら希望進路を決定し、
自己実現に向けて取り組むことを支援する。

3年

【希望進路を実現する】

①具体的で明確な進路目標を持ち、希望進路を実現する。自分の長所や志望理由を表現する活動を通して、社会との関係性について考える。

②進学希望者は、第一志望に合格できるよう自分に合った入試方式を選択し、受験対策を進めていく。就職・公務員希望者は、講習や面接練習を行い、実践力を養う。

月	学年指導	進学	就職・公務員
4月	15 スタディーサポート	23 奨学金説明会	22 公務員・就職説明会(放)
5月	7 分野別進路説明会	14 志望理由書説明会 27 面接説明会①(放)	就職講習 13 公務員講習 27 公務員講習
6月	(資料頒布会)	6 進研マーク模試(希望者) 20 進研記述模試(希望者) ★総合型選抜エントリー開始	就職講習 10 公務員講習 24 公務員講習
7月		10 共通テスト説明会①(放) 21 進学講習週間	就職講習 8 公務員講習
8月	21 調査書発行LHR	21 指定校一覧表発表 24 指定校説明会(放) 25-27 指定校原本閲覧① 31 指定校希望提出①	就職講習 26 公務員講習
9月		8 指定校通過者説明会①(放) 8-9 指定校原本閲覧② 10 指定校希望提出② 15 面接説明会②(放) 17 指定校通過者説明会②(放) 18 共通テスト説明会②(放) 24 指定校希望提出③	就職講習 30 公務員講習 ★就職試験開始
10月		★共通テスト出願締切	
11月		★学校推薦型選拔出願開始	
12月		11 共通テスト受験票印刷(放) ★一般選拔出願開始	
1月		14 共通テスト直前説明会(放) 16-17 共通テスト 18 共通テストデータ提出(放)	
2月			
3月			

【長野高校】 令和8年度 進路年間計画

最高目標・・・「自立する18歳」の育成
自分と社会との関係性を考えながら希望進路を決定し、
自己実現に向けて取り組むことを支援する。

2年		1年
【学部・学科・大学等を知る】 ①やりたい学問・職業に適した学部・学科を知る。オープンキャンパスに行き、入試を含めた大学等の情報を集める。 ②進学講習や模試を活用し、学力の積み上げをはかる。		【自分を知る】 ①自分の強み・興味・適性をもとに「自分らしさ」を知る。コース・科目選択、やりたい学問・職業に関する情報を集める。 ②日々の授業を大切に、基礎的な学力を身につける。
月	学年指導	学年指導
4月	15 スタディーサポート	15 スタディーサポート
5月	28 スタディーサポート進路講演会	28 スタディーサポート進路講演会
6月	11 進路ガイダンス (資料頒布会)	18 自分らしさデザイン① 看護説明会(放) (資料頒布会)
7月	17 オープンキャンパスLHR+課題 21 進学講習週間	21 進学講習週間
8月		
9月	1 スタディーサポート	1 スタディーサポート 24 自分らしさデザイン②
10月		22 自分らしさデザイン③ 29 分野別進路ガイダンス
11月	7 進研記述模試(希望者) 7 保護者向け進路講演会 12 進路模擬授業 18 進路講演会	7 保護者向け進路講演会
12月	進学講習	進学講習
1月	14 志望理由書LHR 看護説明会(放) 公務員・就職説明会(放)	19 実力診断テスト(全員)
2月	6 進研マーク模試(希望者)	
3月	進学講習 志望理由書課題	進学講習 学校調べ課題

4.令和7年度(令和8年3月)進路状況

51期生

のべ合格者数

大学合格者	男	女	計
AO	11	10	21
指定校	27	29	56
推薦	8	5	13
一般	17	1	18
計	63	45	108

短大合格者	男	女	計
AO	1	8	9
指定校	0	2	2
推薦	0	1	1
一般	0	0	0
計	1	11	12

専門学校のうち看護医療の数

専門(看護医療)	男	女	計
AO	1	1	2
指定校	0	5	5
推薦	0	0	0
一般	1	0	1
計	2	6	8

専門学校のうち看護医療以外の数

専門(看護医療以外)	男	女	計
AO	12	31	43
指定校	1	1	2
推薦	3	2	5
一般	1	0	1
計	17	34	51

進学決定者実人数

進路決定者の数

大学合格者 実人数	男	女	計	大学
	46	42	88	50.0%

短大合格者 実人数	男	女	計	短大
	1	11	12	6.8%

専門(看護医療) 実人数	男	女	計	専門(看護医療)
	2	6	8	4.5%

専門(看護医療以外) 実人数	男	女	計	専門(看護医療以外)
	17	32	49	27.8%

就職 実人数	男	女	計	就職
	3	3	6	3.4%

公務員 実人数	男	女	計	公務員
	3	0	3	1.7%

アルバイト等その他 実人数	男	女	計	アルバイト等
	2	7	9	5.1%

浪人 実人数	男	女	計	浪人
	1	0	1	0.6%

合計 実人数	男子	女子	総合計	合計
	75	101	176	100.0%

5. 令和7年度(令和8年3月)就職状況

民間就職

職種	47期		48期		49期		50期		51期	
	受	合	受	合	受	合	受	合	受	合
技能			1	1						
サービス	1	1			2	2	2	2	1	1
販売	1	1	1	1	1	1				
建築					1	1	2	2		
調理見習										
保守管理										
製造			2	1	1	1	3	3	1	1
事務			3	1	1	1	4	3	2	2
介護										
理美容							1	1		
その他							1	1	2	2
窓 口										

公務員

種 別	47期		48期		49期		50期		51期	
	受	合	受	合	受	合	受	合	受	合
国家公務員Ⅲ種										
大阪府職員							1	1		
大阪国税局			1	0						
河内長野市職員										
堺市職員										
富田林市職員										
大阪府警警官	1	0	2	1	3	2			2	2
消 防	1	0							2	0
自 衛 官	3	3			1	0	1	1	1	1

2025年度 進路状況(合格者数) 令和8年3月

分類	学校名	学部名	学科名	合格者数	計
私立 大学	関西大	商	商	1	7
		外国語	外国語/英語	1	
			外国語/中国語	1	
		総合情報	総合情報	2	
	法	法学政治	2		
	立命館大	グローバル教養	グローバル教養	1	1
	近畿大	情報	情報	4	15
		経営	キャリア・マネ	2	
		経済	国際経済	2	
		文芸	文化・歴史	3	
		生物理工	生命情報工	1	
		法	法律	3	
	龍谷大	法	法律	1	2
		文	英語英米文	1	
	甲南大	マネジメント創造	マネジメント創造	1	1
	追手門学院大	経営	経営マーケティング	1	5
			ビジネス心理	1	
		文	人文/歴史文化	1	
		国際	国際/国際文化	1	
		社会	社会	1	
	摂南大	経営	経営	1	1
	桃山学院大	ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	2	12
		経済	経済	5	
		国際教養	英語・国際文化	3	
		社会	ソーシャルデザイン	1	
		法	法律	1	
	関西外国語大	英語国際	アジア共創	1	6
			英語国際	2	
		外国語	英語・デジタル	1	
			英米語	2	
京都外大	外国語	日本語	1	1	
大阪経大	経済	経済	2	2	
大和大	社会	社会	1	2	
	政治経済	政治政策	1		
甲南女子大	社会	総合社会	1	1	
阪南大	総合情報	総合情報	1	8	
	経営	経営	2		
	経済	経済	3		
	国際	国際観光	2		
四天王寺大	経営	経営/企業経営	6	9	
	社会	社会	2		
		人間福祉	1		
帝塚山学院大	リベラルアーツ	リベラルアーツ	2	10	
	食環境	管理栄養	2		
		食イノベーション	1		
	総合心理	総合心理	5		

分類	学校名	学部名	学科名	合格者数	計
私立 大学	大阪大谷大	教育	教育	1	5
		人間社会	心理・福祉	1	
		文	歴史文化	1	
		薬	薬	2	
	大阪電気通信大	工	基礎理工/数理科学	1	4
			機械工	1	
		総合情報	デジタルゲーム	2	
	大阪産大	システム工	機械デザイン	1	4
		建築・環境デ	建築・環境デ	1	
		国際	国際	2	
	大阪商大	経済	経済	1	1
	大阪芸大	芸術	アートサイエンス	1	4
			建築	3	
	関西福祉科学大	健康福祉	健康科学	1	2
社会福祉		福祉創造	1		
大谷大	文	哲学	1	1	
大阪常磐会大	こども教育	こども教育	1	1	
相愛大	音楽	音楽/声楽	1	1	
大阪学院大	情報	情報	1	1	
羽衣国際大	現代社会	放送・メディア映像	1	1	

分類	学校名	学科・専攻	合格者数
短大	大阪常磐会大短大	乳幼児教育	1
	大阪夕陽丘学園短	キャリア創造	2
		食物栄養	1
	大和太白鳳短大	総合/理学療法	1
		総合/こども	1
	関西女短	医療秘書	1
	四天王寺大短大	保育	1
	大阪キリスト短	幼児教育	1
大阪芸術大短大	メディア・芸	1	
大阪千代田短	幼児教育	2	
看護 医療 専門	大阪医専	救急救命	1
	PL学園衛生看護専門学校	看護	2
	浅香山病院看護専門学校	看護	1
	ヘルランド看護助産大学校	看護	1
	近畿大学附属看護専門学校	看護	1
	大阪医療技術学園専門学校	言語聴覚士	1
	大阪労災看護専門学校	看護	1

分類	学校名	合格者数
専門	近畿職業能力開発大学校	1
	南大阪高等職業技術専門校	1
	AST関西経理専門学校	1
	ECCコンピュータ専門学校	1
	ECCアーティスト美容専門学校	2
	OCA大阪デザイン&テクノロジー専門学校	1
	大阪ブレイメン動物専門学校	1
	キャットミュージックカレッジ専門学校	3
	なにわ歯科衛生専門学校	1
	ナンバペット美容学院	1
	ホンダテクニカルカレッジ関西	3
	高津理容美容専門学校	1
	堺歯科衛生士専門学校	1
	修成建設専門学校	2
	小出美容専門学校	1
	新大阪歯科衛生士専門学校	6
	専門学校ESPインタイム	1
	専門学校大阪ビジネス・アカデミー	1
	大分経理専門学校	1
	大原簿記法律専門学校難波校	1
	大阪ECO動物海洋専門学校	2
	大阪ウェディング&ブライダル専門学校	1
	大阪ハイテクノロジー専門学校	2
	大阪ビューティアート専門学校	1
	大阪モート学園	1
	大阪リゾート&スポーツ専門学校	2
	大阪医療福祉専門学校	1
	大阪外語専門学校	1
	大阪情報コンピュータ専門学校	1
	大阪動植物海洋専門学校	1
	大阪動物専門学校天王寺校	1
大阪文化服装学院	1	
中央工学校OSAKA	1	
辻調理師専門学校	1	
理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ	3	
公務員 就職	大阪府警	2
	自衛官候補生	1
	南河内おか病院	1
	株式会社ジェイエスマリン	1
	モリ工業株式会社泉大津工場	1
自己開拓・縁故就職	3	

7. 合格体験記

後輩のみなさんへ（合格体験記）

本文中、誤字・脱字があったり、文体が統一されていなかったりしますが、出来るだけ卒業生の原文を活かすようにしていますので、ご了承ください。

51期 関西大学 法学部 法学政治学科（指定校推薦）

僕が、関西大学法学部を志望した理由は、法に関する職に就きたいと思ったからです。きっかけは、ドラマや本などで法に携わる仕事について描かれていたものを見て憧れていたからで、ちょうどそんなときに関西大学の法学部の推薦があることを知って、法の道に進もうと決心しました。

指定校をとるとらないに関係なく定期テストでなるべく良い点をとって、提出物をちゃんと出しておくことが大切です。学校でいい成績をとるということは、自分のやりたいことが見つかったときに大いに役に立ちます。現に僕は、1年生の時から指定校を強く意識していたわけではありませんでしたが、いざ目指してみようとなった時に困ることはありませんでした。

特別な勉強は一切していません。成績を上げたいのなら、普段先生たちの授業を真面目に聞いておくことをオススメします。テストの点数が悪い人の特徴として、授業中に居眠りしている、などの先生の話をもとに聞いていないことが多いです。

指定校を狙うことは1年生の時から成績で決まるということもあって、緊張してしまう人もいます。そんな人は、まず目標はあらかじめ低めに設定しておくことをオススメします。ただしその目標に関係なく、できるだけいい結果を残そうとすることが大切です。テストの点数でいうと、自分の中の合格ラインは60点程度だが、実際は80点もとれる努力をする、ということです。この例えの中の合格ラインの60点は、絶対に自分が取れる最低の点数に置き換えてください。80点は自分のいつもの調子で取り組んだら余裕でとれる点数に置き換えてください。

目標を低く設定することで、60点をとっても落ち込むことはないし（目標としている点数だから）、いつもの調子でとれる80点が、目標よりも20点上だということで達成感も生まれます。

指定校推薦を取るためにはプレッシャーが一番の敵だということは覚えていてください。

51期 関西外国語大学 英語国際学部 英語国際学科 （高大連携プログラム特別入試）

【志望理由】

私が関西外国語大学を志望した理由は、「将来、英語を中心にいろんな言語を使って活躍したい」と考えていたからです。そして、この高大連携で受けた理由は、先輩が実際に同じプログラムで関西外大を受けていたからと私にはこの方法があったと思ったからです。

【勉強内容】

私が受けた高大連携（春）は、3月ぐらいからオンラインで始まりました。ほぼ一日基本オンラインでしたが、最後だけ対面で実際に関西外大にてチームの子と一緒に発表を行いました。高大連携が始まるまでにながったり勉強をしていたわけではないですが、他の学校の生徒と一緒に協力して行うので足を引っ張らないために、「文法」「単語」の勉強と洋楽を翻訳ありで聞いたり、海外のアニメ・映画を字幕ありで見たりしました。始まってからは、一ヶ月に2回課題提出をしないとイケなかったもので、その課題をやっていましたが、その間も文法の勉強はしていました。課題の中には「シャドーイング」があったので、洋楽や海外の映画で練習もしていました。わからないことがあった時はすぐに先生に聞きに行き、理解できるまで教えてもらったりもしました。

【資格】

3月までに英検2級を取得しないとイケないので、6月～11月まで筆記・面接含めて三回英検を受けました。面接は先生と一緒に、本番同様の練習を何度もしました。大学に入学したらTOEICを受けないとイケないので、英検を取り終えた後にTOEICの勉強を始めました。

51期 大阪大谷大学 薬学部 薬学科 （指定校推薦）

私は小さい頃からの夢である薬剤師になることを実現するため、薬学部があって、自宅から通いやすい距離にある大阪大谷大学を選びました。

中学生の頃、全く勉強できなかった私が高校生になって初めてのテストで取ったことのないくらいの高得点を取れて、自分ってこんなにできるんやって自信ができました。ちょうどその時に、指定校推薦という入試制度の存在を知り意識するようになりました。当時、特にやりたいことも行きたい学校もなかった私に母が「やりたいこととかがなくても、このまま維持して頑張っておけば、3年生になってやりたいことが見つかったときに、もう手遅れってことなくなるよ」と言ってくれました。後悔したくないって思ったからこそ、定期考査と提出物だけはちゃんとやるようにしていました。

私はギリギリまで悩んでいたこともあり、指定校のエントリーの提出が遅くなって入試まであまり時間がありませんでした。本格的に面接の準備を始めたのは、入試まであと一週間を切ってからでした。私の性格的にどんな質問が来ても答えが用意されている状態にしておきたかったので、聞かれそうなこととその答えを何パターンも考えて、先生に添削してもらってを繰り返して文章を完成させました。そこから面接練習をしだして、考えた文章は使える時間全部使って暗記しました。

私が受験を振り返って大切だと思ったことは2つあります。1つ目は、一年生の頃からコツコツ頑張っておくことです。私は薬学に行くまで最終的に決断するまで何度も進路を変更しました。けど、頑張っていたから可能性を狭めずに悩むことができたし、最後にちゃんと決断することができました。2つ目は先生を頼ることです。最終的に決めるのは自分だけど、悩んだときは一人で抱え込まず頼れる先生を見つけて相談してください。先生はほんまにいろんな情報持ってるし、最後まで必ずサポートしてくれるから相談して損はないと思います。

51 期 大阪労災看護専門学校 看護科 (指定校推薦)

私は、指定校推薦で第1志望の専門学校に合格することができました。なので、私からのメッセージは、指定校推薦へ向けて学習している人たちへのものになります。

指定校推薦でまず大切なことは、“日々の努力”です。指定校推薦には、「前日に全部覚えよう」「前日に勉強して頭に詰め込もう」といった一夜漬けは絶対に通用しません。「じゃあどうしたら良い?」「入試に向けて頑張りたいのにどう頑張れば良いの?」「先生や両親は『大学のために勉強しないと。そろそろ動き出さないと』って言うけれど、何をしたら良いの?」など、そんな考えであふれてませんか?私も2年生の時はそんな気持ちであふれて、それに正確に進路も決まっていませんでした。

進路が決まっている人も決まっていない人もまず、今からしてほしいことが3つあります。

1つ目は、提出物や定期テストの勉強をしてください。提出物は必ずして必ず提出してください。そして、提出物でもA・B・C・Dのような評価があると思います。ノートやプリント、ワークなどは常に最高得点を取れるように意識してください。定期テストはなるべく良い点を取ってください。なるべく良い成績を取れるように、努力をしてください。

2つ目は、できるだけ休まず頑張って学校へ行ってください。大学によっては“欠席10日以内”などの条件があります。進路指導室などで、自分の行きたい大学はどんな条件があるのかまずは確認してから、それに向けて頑張らしましょう。そのために、体調管理にも気をつけてください。早寝早起き朝ごはんや、適度な運動など当たり前のことが意外と大切になってきます。

3つ目は、たくさんの大学・専門学校を見て調べる、たくさんの先生や先輩から話を聞いてください。広い目で、自分のやりたいこと、自分が頑張りたいと思うこと、自分がこんな風に生きたいと思うこと、たくさんのことを照らし合わせながら考えてください。ついでに私がこの専門に行きたいと決定させたのは3年の8月です。なので焦らず自分自身と向き合っていくてください。

今からでもできることはたくさんあります。「自分は何をしたいかな?」「将来、どんな職業につきたいかな?」って考えることも進路のための1つにもなります。今からでも全然遅くありません。まだまだ時間はあります。自分の夢に向かって今から全力で頑張ってください。後悔がないように、たくさん考えてたくさん悩んでください。応援しています!!

51 期 阪南大学 経営学部 経営学科 (指定校推薦)

【志望理由】

自分は将来、サッカー関連の仕事に携わりたいと考えているので、サッカーリーグの審判をしている教授がいる阪南大学を志望しました。自分は高校入学時点で大学は指定校で行くと決めていたので、一年次から準備をしていました。

【行ったこと】

まず、授業には可能な限り出席し、提出物は全て提出していました。これらは当たり前のことですが、テストの点数が芳しくなかったときに、平常点の恩恵で5を貰えたということもありました。後々やってよかったと思うことになるので、指定校を狙うのであれば最低限のことはしておいたほうがいいです。

【勉強内容】

定期テストで点を取るための勉強法です。

まず、①自力でワークを解く・プリントの穴埋め箇所、問題を赤シートで解く▶②分からなかった箇所の確認・解き直し▶③②の繰り返し▶④前日に一通り確認 といった感じで、ひたすら暗記をしていました。テスト勉強を始めるのはテスト1週間前からで、自宅では1日3時間ほど勉強をしていました。面倒ですが、逆にこれだけでも校内選考に自信を持って臨めるぐらいの評定が取れるので、メンタル的にもこれぐらいの勉強量で丁度よかったです。

【資格】

自分は関西大学を指定校で受験するつもりで、その受験資格として特定の資格が必要だったため、その中の一つにあった漢検二級を取得しました。自分はその条件を割と直前で知り、ギリギリで取得できましたが、最終的に志望校を変更したので出願時に漢検を利用することはありませんでした。ですが、漢検二級で奨学金が貰える制度があり、結果的に無駄にはなりませんでした。

長くなりましたが、ここで伝えたいことは【早いうちから指定校の概要を確認しておく】【資格は迷ったら取る】【定期テストはとりあえず上位を狙う】の三つです。特に、最後については、序盤に上位を取ってしまうと二度とサボれなくなるのでオススメです。困ったら先生方に相談してください、長野の先生は優しいので親身になって聞いてくれます。大変なこともあるかと思いますが、自分のペースで頑張ってください。

50期 近畿大学 農学部 農業生産科学科 (指定校推薦)

私は、指定校推薦で第一志望の大学に合格することができました。なので、私からのメッセージは、指定校推薦へ向けて学習をしている人たちへのものです。

まず大切なことは、定期テストと日々の授業を真面目に取り組むことです。そうすれば成績が上がり、学年の順位も上がって指定校を勝ち取りやすいし、これらを実行することで、学習する癖がつかます。大学に進学する人間なら、この習慣は大きな力になるので、授業に集中して取り組み、定期テストで良い点を取ることを目的とするのは、何も間違っていない。勉強できていると感じるなら、そのまま維持すれば良いし、勉強不足と感じるなら、勉強しましょう。そして、どれだけ勉強できても、学年順位が高くなければ指定校を勝ち取れないという現実があります。高い学年順位に位置するように努力しましょう。自分が思う学年上位に入るために持つべき目標は、「90点取る」とか「〇〇よりも良い点を取る」ではなく、「100点を取る」です。目標はどれだけ高くても作れるし、100点を取った場合、相手がどんな成績でも、1位だからです。常に高い目標を持ち、限界を超えない程度で、日々努めましょう。

指定校で入学しようとしていて高い順位を維持できているが、どんな大学に行こうか決まっていない、または、進路が未定の人もいるはず。自分もそうでした。夢を持ちたい人は、いろんな情報を得ましょう。情報というのは、職業の種類や、人の生き方などで、例えばマンガが好きならマンガを読んで、憧れの人を見つけます。そして、その人のようにするために、生き方を変えて、そのための職も見つけれたら、行くべき大学がわかると思います。期待していた情報が得られなくても、落ち着いて身の回りを見回してみましょ。自分の生き方や目標が見つかるヒントが隠れているかもしれませ

指定校に向けて大切なことは、授業に集中して定期テストで高い成績を取り続けることと、夢や生き方を持つことの2つです。目標に向かって、素直に取り組める、いきいきとした日々を過ごせるといいですね。

50期 近畿大学附属看護専門学校 看護科 (指定校推薦)

私が近畿大学附属看護専門学校を選んだ理由は、近畿大学病院と連携した実践的な教育を受けられるからです。私は、1年生の夏頃からしっかり勉強するようにしました。提出物は早めに終わらせるようにし、定期テストは1週間前から勉強に取り組むようにして、わからない箇所は早めに解決することで、より多くのことや、より広い範囲のことを勉強することができました。苦手な教科は、何回も繰り返して勉強することで、点数を上げることができました。1年生のころから積み重ねて学習することで、苦手な教科も1年生から3年生に上がるにつれて、どんどん成績を上げることができました。

進路が決まっていない人も、余裕をもって進路選択ができるように、早いうちから勉強をしておいた方が良くと思います。成績を上げれば上げるほど、選択できる数が増えるので、みなさんがなりたいものになれるように応援しています。

50期 四天王寺大学 看護学部 看護学科 (指定校推薦)

私が、四天王寺大学看護学部を選んだ理由は2つあります。

1つ目は、私は将来助産師になりたいと思っています。四天王寺大学看護学部には、助産師コースがあったからです。2つ目は、最先端のシミュレーション教育で、リアルな学習体験ができるからです。

私は、1年生のころから個別指導の塾に通っていました。塾では、国語・英語・数学I・数学Aを教えてもらっていました。私は、1年生の時から、学校の定期テストをしっかり勉強して、良い成績を取れるように、テストの1週間前からではなく、2週間前くらいから、ワークやプリントをコツコツと勉強していました。間違えた問題には印をつけて、何回も解くようにしていました。塾では、学校の範囲ではなく、予習をしていたので、学校の授業では、復習をしていました。英語は、英検に合格できるように頑張っていました。長野高校では、今までに四天王寺大学の看護学部の指定校は、きたことがないと聞いていたので、一般受験をするつもりで、たくさん勉強していました。3年生になってからは、授業がない日も、毎日塾の自習室に行き、受験科目の勉強をしていました。夏休み頃は、朝から夜まで勉強をしていました。

勉強のコツは、自分のペースですることです。集中が切れてしまったり、やる気がなくなったりしたら、科目を変えてみたり、単元を変えたりして、自分なりに工夫をして勉強をしていました。

今年からは四天王寺大学の看護学部の指定校推薦がきて、私は推薦をとることができました。1年生の頃から、定期テストを頑張って、成績を取っておいて良かったと思いました。一般受験に向けて、たくさん勉強していたけれど、無駄だったとは全然思いません。今まで努力をしてきたからこそ、志望校に行くことができたと思っています。

みなさんも、1年生の頃から、定期テストの勉強を頑張っておくと良いと思います。努力は絶対に裏切りません。志望校に行けるように、自分を信じて頑張ってください！！

50 期 近畿大学附属看護専門学校 看護科 (公募推薦)

私が、近畿大学附属看護専門学校を選んだ理由は、最先端の医療に携わりながら、多くの人々を救いたいと思ったからです。

看護の専門学校に入りたいと思ったのが高校1年生の時で、具体的に近畿大学附属看護専門学校を目指そうと思ったのは、高校3年生の春でした。私は少しさぼってしまい、受験勉強に取り組むのが遅く、評定が足りなくて、指定校推薦を取ることができませんでした。なので、3年生の4月から、学校のワークで基礎から勉強しました。

私は数学がとても苦手なので、生物基礎で受験しました。生物基礎は、数学と違って暗記科目なので、ワークを何周もして、満点を取れるまで勉強することが大事だと思います。ですが、毎年倍率が高いので、1点のミスが大きくなってきます。単語集などの参考書を買うことで、少しでも点数が取れると思うので、おすすめです。

現代文は必須科目なので、普段から本を読んだりすることが大事だと思います。ですが、私は普段から本を読む習慣がなくて、とても苦労しました。ワークを買い、一から解いたりしましたが、最初は全然解けなかったもので、とりあえず何回も読んで、理解するところから始めました。一番大事なのは、問題文の前後をしっかりと読んで、内容を理解することです。本番では、緊張してしまって、全部読む時間がないかもしれません。その時は、問題文の前後だけをきっちり読むことと、選択肢から答えを絞るのも、1つの解決策だと思います。現代文の勉強でどうしたらいいかわからなくなったときは、学校の先生に聞くと、たくさん教えてくれるので、先生を頼ることも大事です。

面接に関しては、学校の先生とひたすら練習しました。一番大事な質問は、「なぜ看護師になりたいか」「なぜこの学校を選んだのか」この2つです。緊張してしまって、声が出なくなって、答えることができなくなるのは一番良くないので、たくさん面接練習をした方がいいと思います。多少は覚えた方がいいと思いますが、丸暗記はせずに、笑顔を忘れず、ありのままの自分を伝えることが大切です。

アドバイスは、普段の定期テストで、しっかり点をとることが良いと思います。私が指定校を取ることができなかった要因は、定期テストで良い点を取ることができなかったのが大きかったからです。指定校は、成績はもちろん大事ですが、きちんと学校に毎日行くことも大切です。欠席日数が10日以上だと、指定校を取ることができない学校が多いので、普段から健康に気を付けて、学校に行くことが大切だと伝えたいです。

将来の夢を叶えるために、今から努力をすれば、必ず志望校に合格できると思います。応援しています。

49 期 関西大学 システム理工学部 機械工学科 (一般入試)

私が関西大学システム理工学部機械工学科を選んだ理由は3つあります。1つ目は、家から通える距離にキャンパスがあるからです。2つ目は、私は将来、物作りの仕事に携わりたいと考えていて、関大の機械工学科には様々な分野の研究室があり、私が作りたい物を見つけられると考えたからです。3つ目は私の学力に合った大学だからです。

私は、1年生のときから学校の定期テストをしっかり勉強して受けていました。そのおかげで、3年生の夏頃に本格的に受験勉強を始めるころには、受験科目である数学・英語・物理はある程度基礎ができていました。夏休み頃は、1日で8時間ほど勉強していました。勉強のコツは、自分のペースで無理せずコツコツ勉強することです。

後輩の皆さん、もし一般受験を考えているのなら、悔いが残らないように早いうちからしっかりと勉強してください。最後に焦っても、私の周りで一般受験をした人で第一志望に受かっている人はほとんど居ません。私の体感ではほとんどの人は第二志望、第三志望に進学するか、浪人しています。みなさんが志望校に合格することを応援しています。

49期 近畿大学 法学部 学校推薦型選抜（指定校推薦）

私は、日常生活に結びつく法律や社会保障、税金のことについて詳しく学びたいと思いました。そして、ここなら私が2年生から学んできた韓国語も学習でき、行きたかった短期語学研修にも行くことが出来ると考えました。このような理由から、私は近畿大学を目指そうと決めました。

私が勉強をするにあたって行ったことは、1、2年生から提出物を全て出すこと、定期テストでは、2、3週間前から習った範囲を復習していくなどの自己流の勉強方法を見つけて取り組むことです。まず、提出物は点数アップや内申点アップに繋がるので、遅れてしまっても、必ず提出物を出すように心がけていました。1年生の頃には、中々成績が伸びず、勉強方法も分からず悩んでいた時期もありましたが、その中で自分に合った勉強方法を見つけて、2、3年と成績を右肩上がりに伸ばしました。私が行っていた勉強法として、まず、プリントはオレンジのペンで書いて、復習するときに赤シートで隠して勉強するというをしていました。また、ワークもオレンジのペンで書いていました。わかりやすく言うと【オレンジのペンで書く→復習する際は赤シートで隠す→問題を解く→答えられなかったところ、または間違えたところは問題番号に“×”（バツ）をつける→2回目に同じところを解いた時に前回間違えたところを正解したら“×”を消す】の繰り返しをひたすらしていました。また、私は数学が苦手だったので、映像授業などの動画を見て、分からないところを少しずつ解消していったり、ワークの解説を見て、自分なりに理解していくように工夫したりしていました。

高校生活の3年間はあっという間です。悔いの残らないように、行事や学校生活は写真を撮ったり、高校生でしか出来ないことを思いっきり楽しんでください!そして、勉強も大変だと思いますが、頑張った分大きな自信になります。1日1日大切に過ごしてください。皆さんが志望校に合格できるよう、応援しています。

49期 近畿大学附属看護専門学校 看護科 学校推薦型選抜（指定校推薦）

私が近畿大学附属看護専門学校を選んだ理由は、近縁大学への就職率が高いからです。また、同じく看護師を目指す他校の友人が近畿大学附属看護専門学校を目指していた事も理由の1つです。

その友人は毎日しっかり勉強ができる人で、部活動にも積極的に参加していたので忙しく、高校に入ってからでは会って話したり遊んだりする時間が少なくなっていました。そんな時、同じ学校に入学できたらいつも会って話せるし、一緒に近畿大学附属看護専門学校を目指さないかと言われました。私にとってはハードルが高いけれど、何よりいつも会えるようになるし、この友人と一緒に勉強していたら自分も成長できる気がしたので頑張って目指してみようと思いました。

看護の専門学校に入りたいと思ったのが高1の春で、具体的に近畿大学附属看護専門学校を目指そうと思ったのは高3の夏前です。これまで指定校推薦が無かったので、公募推薦で受験しようと過去問題を解いて勉強しました。私は数学が苦手なので生物基礎で受験を考えました。ですが、高1の頃に目指していた看護専門学校の受験科目が現代文・数ⅠAだったため、生物基礎の教科書を2年生になるタイミングで捨ててしまいました。インターネットで買うはめになったので、今目指している学校の受験科目でなくても、受験に必要な教科書は残しておくと思いいます。

今年はラッキーな事に、初めて長野高校に近畿大学附属看護専門学校の指定校推薦が来て、運良く入学する事ができました。指定校推薦は評定平均が大切です。応募条件が評定平均3.0以上と書かれていた場合、例えば自分の評定が3.5であっても、同じ枠を争う生徒の評定が4.0だと推薦枠の中に入れません。大幅に余裕をもって成績を上げておくといいと思います。また私は高2・高3時の評定平均が高くても、高1の評定平均が高くないと一気に合計平均が下がるなと感じたので、高1の頃からできるだけ頑張っ、定期テストでも点を取るようにすると思いいます。

受験では、何が起こるかわかりません。1年生からしっかり頑張っていれば、夢に近づけると思いいます。

49期 甲南大学 マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 学校推薦型選抜（指定校推薦）

私はこの3年間大切にしていたことがあります。それは何に対しても積極的に取り組むことです。ほとんどの行事で運営側になり自らが中心となったり、有志でなにか募集している時も進んで参加したりするようにしていました。これらは今しかできないことで、大人になった時、良い思い出になると思ったからです。そして、必ず自分のためになるからです。

行事の運営をするうえで、何度も問題に当たったりしんどい思いをしたりすることもありましたが、その度に試行錯誤して乗り越えてきました。苦勞することもあるとは思いますが、人間関係が広がったり、周りを見る力がついたり、行事を終えた頃には以前の自分よりも成長したと感ずることができず。これは勉強に対しても同じです。私は3年生になるまで、深く進路のことを決めていませんでした。3年生になった時、もっと勉強していたら良かったなと後悔しました。私の受験方法が指定校推薦だったこともあり、そこでは3年間の成績が全てでした。3年生の成績で巻き返せる部分もありますが、周りの子達も少しでも成績を上げようとするので、1・2年生の頃からどれだけ頑張れたかが大事だと思ひます。日頃からある程度頑張っておけば、選ずできる進路の幅が広がり、自分の希望する進路先へ行けます。私は元々勉強が苦手だったので、ガッツリ勉強というよりは、平均点以上は必ず取ること、そして何よりも提出物を出すこと、この2つを意識していました。ノートのメモをたくさんとるようにし、内申点を大切にしました。内申点を上げようという姿勢を身につけると、授業を真剣に受けるようになり、自然に学力も上がってくるように感ずます。また、提出物は遅くなっても必ず出すべきです。出すということに意味があると私は思っ、内容も完璧なのが理想ですが、そうじゃなくても必ず出してほしいです。

このような私の経験から、昇非みなさんにも、何に対しても積極的に取り組んでほしいと思ひます。高校3年間ほんとうにあつという間です。今しかできないことを楽しんで高校生活を充実させてください！ みなさんが志望校に合格することを祈っています。

49 期 大阪経済大学 国際共創学部 国際共創学科 (総合型選抜)

勉強が苦手な方でも諦めないでください！正直、私は勉強がずば抜けて得意な方ではありませんでした。しかし、この方法で大学に合格しました。それは AO 入試です。AO 入試でも面接や、小論文、テスト、書類提出など様々な受験の仕方があります。私の場合は、志望理由書、自己 PR、面接でした。

学業ももちろん大切です。成績が高い方が行きたい大学にいける確率が上がります。でも私は挑戦する、経験する事が大切だと思います。

私は部活動を 2 つ兼部していました。その中でもあまり他の学校にはない部活動(ユネスコ・自然科学部)に所属していました。他にも韓国姉妹校研修や、インターナショナルフェスティバル、第 2 外国語の検定受験なども行いたくさん挑戦や経験を積んできました。私はこの経験などから、国内にとどまりたくないという気持ちが明確になり、もっと視野を広げて学んで挑戦したいと思い、自分が 1 番入りたい大学を見つけることが出来ました。

受験対策期間では面接官に喋りたいことや書きたいことが多すぎて、逆にどれについて言おうか悩んでいました。受験当日も、緊張より今までしてきたことを伝えたい気持ちが大きくてワクワクしていました。面接官も私の話にすごく興味を持って聞いてくれたと思います。皆さんは「高校生活何をしたか？」と聞かれた時に自信を持って何をしたかを答えられますか？今の時点で、答えられる方はほんの少しだと思います。今は部活動が自由入部になり、廃部になるクラブも増えてきています。でも、部活動に所属することで何か身につく力があると思うし、話題にできる「武器」になると考えています。今の高校生はすごく羨ましいです。今はコロナによる制限が緩和して、いろんなプログラムが増えてきているからです。国内だけではなく実際に海外の方との交流のできる場も増えてきています。最後に、今だからできること、長野高校だからできることを見つけ積極的に挑戦してみてください。

48 期 近畿大学附属看護専門学校 (一般入試)

私が看護師を目指そうと思ったのは、中学時に通院していた時の看護師さんが私に寄り添い助けてくれたので、自分が助けられた分、次は私が誰かを助けたいと思うようになったからです。私は近畿大学附属看護専門学校を志望校にしました。この学校の指定校枠はなかったのですが、公募制推薦、一般入試で受験することになります。合格できるかの不安も大きかったのですが、どうしてもこの学校で学びたいという思いが強く、他校の指定校には出願せず、近畿大学附属看護専門学校を受験することに決めました。秋以降、周囲が指定校推薦、総合選抜型でどんどん進路が決まっていく中で、自分だけが決まっていないことへの焦りと不安でとてもつらかったです。それでも志望校にどうしても合格したいという気持ちが勝りました。

私は 1 年次から看護系への進学を考えていたので、1 年次より評定平均が 4.0 を下回らないように定期考査前は計画的に勉強してきました。また、数学は受験科目にあるので、1 年次より定期テストの為だけではなく、週に 1 回は復習していました。

帰宅後(授業後)の受験勉強は、週 4 日は塾で 5 時間ほど勉強し、残り 3 日は自宅で間違った問題の類題を解きました。数学は数研出版の『黄チャート』をひたすら解きました。学校の授業では、「看護国語」で「問いに対する答えの探し方や文章の読み取り方法」を学び、「看護総合」で「コミュニケーションの方法」を学びました。

後輩の皆さん、どうか行事・学校生活も勉強も全力で取り組み、頑張ってください。高校時代の3年間はとても早く感じます。1日1日を楽しんで下さい。皆さんが志望校に合格できるよう、応援しています。

48期 関西大学 法学部 (指定校推薦)

私が今も尚、勉強にあたって意識していることは『効率』です。その効率の為に高校時代に行った事が2つあります。

①1,2年生から提出物を全て出し、定期テストは自己流の勉強方法を見つけて取り組む。②なるべく毎日学校に行き、授業を普通に受ける事です。

当たり前の事だと思われたかもしれませんが、詳しく説明すると、①で特にポイントとなるのは「1,2年生から」です。周囲がまだそこまで進学について深く考えていない時に動き出すのが大切です。進学について何も決まっていなくても、「提出物を全部出して、定期テストで点数を取っておく」ことは、3年生になった時必ず自分を助けることになります。ですから、「提出物を全部出して定期テストで点数を取っておく」方が断然お得です。何しろ提出物に関しては出すか出さないかで全く評価も変わります。提出が遅れてしまっても、必ず提出物を出す事を私は心がけていました。そして同じ提出物を出すなら高い評価を貰う方が、成績だけでなく、自己肯定感にもプラスになるので、授業のメモや、自分で調べた事などどんどん書いて、最終的に自分がこれ以上付け加えることがないと思える程の仕上がりになったら提出していました。定期テストに関しては、(これはあくまで自己流ですが、)テストが近くになると提出物が沢山出されると思いますが、私は敢えて1番最後にしていました。提出物を先に全部終わらすと、私の場合安心して余裕が出てしまい、スマホを触ったりゲームをする時間を自分に与えてしまい、勉強が疎かになってしまいます。わかりやすく言うと【提出物終わらす→安心してスマホ触る→時間が無い→テスト範囲定着度 60%で挑む】です。でも先にテスト範囲を頭に100%定着するまで理解し、覚えてから提出物をする方法にすると、【テスト範囲定着度 100%→提出物→テスト範囲定着 100%以上の力で挑む】になる為、結果として後に回す方が、私にとっては効率的で合っていた方法でした。また、提出物はテストと関連している物が殆どなので、最後に取り組み事でもまとめとしても使っていました。このように自己流を見つける事が一番効率の良い方法です。まだ1,2年生で進路が決まっていない、目標がないという人も、取り敢えず自己流の勉強法を見つけましょう。それだけで後が大きく変わってくると思います。「点数が下がったら試した勉強方が合っていなかったから変えよう。点数が上がったからもう少しこの方法が続けてみよう。いつもの勉強法に飽きたからちょっと違う方法でやってみよう。」など、ゲーム感覚の様に楽しんでするのがオススメです。私は社会だったらノートを使ってひたすら語呂を作って覚えましたが、周りの友達は教科書をひたすら読む、だったり、単語とリンクする絵を沢山書いて覚える、マインドマップを書きながら覚えるなど、勉強法は十人十色でした。1,2年生はまだ時間があるので色々な勉強法を試して、最終的に自分の最適な勉強法を見つけるいいと思います。3年生の半ばになったら、勉強とは無縁だと思っていた子も、余裕を振りかざしていた子も焦りだします。その時に自分の合った勉強法を探し始めてもう遅いし、その短期間で自己流を見つけられるかも分かりません。その時に自分に合った勉強法を確立していたら、安定して点数も取れるし、変に焦る事もないです。だからまだ時間がある1,2年生から始めるのがチャンスです。

②の『なるべく毎日学校に行き授業を普通に受ける事』については、(これも後々の自分を救う為ですが)出席日数も進路に関わってきます。所詮出席日数。されど出席日数です。しっかり学校に行きましょう。テストの点数が悪かったらその分勉強して取り戻すことができますが、出席日数はどうしても取り戻す事が出来ないので、行ける時に行きましょう！そして、授業を聞いて手を動かしているだけでも大分テスト勉強の時が楽になります。

私は大して勉強が得意な訳でも通塾していた訳でもありません。でも、「提出物を出す、授業を聞く、学校に行く、定期テストをしっかり受ける」傍から見たら当たり前の事ですが、実は1番勉強において効率が良く、全て自分にいいようになって返って来るし、頑張ったら頑張った分だけ報われるので、私はこの当たり前の事をコツコツ積み重ねていきました。そして志望校(関西大学)にも推薦で入学出来ました。

でも、志望校に入学出来た事が私のゴールではありません。私は推薦入学なので、一般入試で入学してくる子とは歴然とした勉強量の差があります。ですから、まず勉強の習慣を身につける為に毎日何かしらの勉強をするようにしています。勉強は量より質を重視し、大学生のテストは高校のテストとは比にならない位莫大な範囲と聞いたので、また今から自分なりの勉強方法を見つけていこうと思っています。

47期 甲南大学 文学部 英語英米文学科 神戸学院大学 グローバルコミュニケーション学部 英語コース

志望理由は、小学生の頃から洋楽や洋画、海外旅行が身近に感じられる環境で育ち、海外に興味を持っていて将来は国際関係の仕事をしたいと思っていました。そこで甲南大学出身の父から話を聞き、世界に通用する国際教養力が学べる英語英米文学科に興味を持ちました。

僕が本格的に受験勉強を始めたのは6月中旬あたりからでした。元々塾では、英語だけを取っていたのですが、古典も追加し、現代文と日本史は代々木ゼミナールのサテラインという動画での授業で1年間かけて行うものを1~2カ月に圧縮して早くから基礎を固めました。安定して勉強できるようになってきたのは夏休みに入ってからでした。夏休み中は勉強時間が塾での授業も含めると10時間を下回ることはありませんでした。英語は文法においては「英文法ファイナル問題集」、長文は「やっておきたい英語長文」や「The Rules」などをひたすら解いていました。単語に関しては「ターゲット1900」を夏休みが終わるまでに完璧に覚えました。現代文と日本史に関してはサテライン動画の1学期、夏期講習会、2学期分をまとめて終わらせました。その結果、模試では安定して結果を出せるようになっていきました。ですが、日本史だけは結果が伸び悩み、甲南大学の日本史はマーク式ではなく記述問題もあり難しいことが分かっていたので、どう対処するか悩んでいました。

そこで一般入試での合格を最終目標にしていたのを、英語と小論文だけで受験できる公募推薦入試に切り替えました。そこからは過去問研究を徹底的に行い、英語と小論文にかかる時間を増やしました。もちろん公募推薦は一般入試よりも倍率も高く、自分よりも高いレベルの人たちが多く受けてくるので、受かる可能性は一般よりも低かったので、日本史と現代文、古典の勉強も並行して進めていました。ですが、一次試験である英語と小論文を突破し、二次試験の面接に進むことができました。面接では日本語だけでなく、英語での質疑応答もあったので、担任の先生やネイティブの先生に放課後練習してもらい、無事に二次試験も通過し、正式に年内の合格を決めることができました。

最後になりますが、受験勉強は本当に自分自身の戦いです。僕は入試前には学校を休んで入試対策をすることが多々ありました。先生方には迷惑をかけてしまい申し訳ない気持ちもありましたが、自分は後悔していません。やらなければいけないことを明確にし、自分自身が後悔をしない選択をすることが受験生にとって一番大切だと僕は思います。これからの受験生の方たちには長い受験勉強の中で大変で苦しい時期が必ず来ると思います。そんな時は決して一人で抱え込まず、周りの先生や友達、親を頼りながら、正しい選択をして第一志望合格を達成できるように頑張ってください。

47期 同志社女子大学 表象文化学部 英語英文学科

志望理由は英語の学び方や学校の校風が自分に合っていると思ったからです。また、同志社大学との交流が盛んであるという点も志望した理由の一つです。

私が入っていた部活は8月下旬で引退だったので、本格的に勉強し始めたのは夏休み終わりかけの時でした。部活をしていたときは勉強できる時間も少なく、入試の過去問を解いて間違ったところをやり直すというまとまった時間がとれなかったので、短時間でも身につけられて基礎力をつけられる単語を集中的に覚えました。引退してからは過去問や参考書を使って問題文にとりかかりました。先輩へのアドバイスとしては、自分に合った勉強方法を確立しておくことと、曜日ごとにどんな勉強をするのかということを決めておくことです。私の場合は、平日と土曜日に問題集、日曜日に過去問を解くと決めていました。問題集と過去問にでてきた知らない単語を調べてノートにまとめました。単語はすぐに忘れてしまうので、毎日寝る前の1時間は今までに覚えた単語を復習することに使いました。また、私は集中力が長時間続くタイプではなかったので、「30分勉強したら3分休憩する」というのを繰り返していました。無理に1時間勉強していたときよりも効率がよくなり、1日の勉強量がぐんと増えました。

もう一つのアドバイスは過去問をとにかく解くことです。先輩に「過去問をいっぱい解くといい」とは聞いていましたが、解いていくうちに、その大切さがよくわかりました。問題の傾向を知ることができるのはもちろん、できやすい単語や熟語もわかるようになってきます。入試本番でも「やっぱりこの熟語でてきたな」と思ったところがたくさんありました。単語帳を使って覚えることももちろん大事だと思いますが、過去問から覚えたことが1番点数アップにつながったなと思っています。

あとは、休むときはしっかり休んでおくことです。勉強が行き詰まったときは、友達と話をしたり、本を読んだり、とにかく自分が好きなことをしました。どうしてもやる気が出なったりすると、志望校のパンフレットを見たりしてモチベーションを上げました。「受験は休んでいる暇なんてない！」と思いがちですが、休むことは受験をするなかでとても大切なことだと思います。

つらいことも多い受験勉強ですが、やり遂げた後には大きな自信になります。悔いの残らないように頑張ってください！

47 期 近畿大学 経済学部

僕が近畿大学を選んだのは家から通える距離で志望校を選び始めた時から挑戦出来る中で1番偏差値が高かったからです。僕が本格的に受験勉強を始めたのは夏休み前の三者面談の時からです。それまでの1.2年は全くと言っていいほど勉強をしていませんでした。先生に1日8時間は勉強しないと受からないと言われて危機を感じそこから毎日8時間、休日はそれ以上勉強しました。初めは何をしたらいいかも分からず英単語、英文法、英熟語など覚える系を夏休みにメインでして、日本史の教科書を読み込んで時代の流れを覚えていました。

夏休みの終わりごろには既にもっと早く勉強していたら良かったと思い始めました。実際、3年の初めに勉強開始していたらもっと楽だったと思います。夏休みが終わってから日本史の一問一答、英語の並び替えや長文など演習も組み込みました。2週間に1度過去問を解いていましたが、良くて6割、平均すると4割しか取れていませんでした。過去問が合格点に乗ったのは12月でした。

勉強法は人それぞれ自分に合うものをするべきですが、全てに共通するところは基礎を疎かにしないことです。基礎を疎かにしているとどこの大学にも受からないと思って貰ってもいいくらい大事です。実際基礎を完璧にしていたら近畿大学では7割程なら点数が取れると思います。1.2年で既に基礎が出来ているならいいですがそうでない人は早急に勉強開始した方がいいかもしれません。

努力は絶対に報われる訳では無いけど、努力した分最後に笑う確率が高まります。志望校に通っている自分を想像して頑張ってください。

47 期 同志社大学 文学部 美学芸術科 関西大学 総合情報学部

私が同志社に行きたいと思った理由は、西日本の私立で一番賢い大学だったからです。そこに長野高校から行けたらカッコいいんじゃないか？そんな理由でした。

塾に行き始めたのは、2年の9月で、3年になってもずっと英語だけ習っていました。その塾は、京大、阪大志望の子が来るような塾だったので、みんなのやる気や学力の高さに触発されてモチベが上がりました。

英語は2年で単語と文法を固めて、3年で文構造の理解や熟語、英作文、長文読解をしました。

古文は、スタディサプリで文法の授業を見て、単語を覚えました。

現代文は、私立用解法公式集をしました。

選択科目は、政治経済を選んだのですが、将来に役立つし、覚えることも比較的少ないので、良かったと思います。

正直、受験生の時一番しんどかったことは、勉強ではありませんでした。みんなは遊んでいるのに、私はゲームも我慢して、遊びにも行けないことがしんどかったです。なので、たまにショッピングに行ったり息抜きをしていました。

受験期はかなり大変でしたが、今思い返すと一般で頑張ってた良かったなと思います！人生でここまで頑張ることは多くないし、何よりも自分に自信ができました。

受験で得られる喜びは、何にも変えられないものです。みんなが本当に行きたい大学に出会えることを願っています。

国公立大学を目指して勉強していましたが、共通テストの勉強の仕方をお伝えします。

国語：漢文が苦手だったので、AヲシテB(セ)シムみたいな文型を必死に覚えました。漢文はほかの教科に比べて出題範囲が狭いので、ちょっと勉強すれば点数があがると感じました。難しいと頭を悩ませていた範囲でも案外覚えさえすれば解けるようになりします。古典は単語を沢山覚えましたが、当然ですが単語が分からないと解けません。古典は日本語に見せかけた外国語です。油断していると大変なことになります。現代文は様々なジャンルの文章を読んで長い文章に慣れておくと思いいます。

数学：一番苦手な教科です。3年間勉強してきましたが、得意にはなれませんでした。苦手な教科は最後まで苦手なままな事が多いです。ですので、苦手だと分かっているなら早めに対策するべきです。諦めるとかなり足を引っ張られるので、諦めずに取り組んで下さい。私はかなり苦手だったので、タイトルに「よく分かる」とか「簡単に理解できる」と書いてある参考書を使っていました。

英語：共通テストの英語では文法やアクセントは出題されず長文を読んで情報を正しく選別する事を要求されます。これは慣れないと出来ないの点数をこなして力をつけました。毎日1題は解いていました。どんなに簡単な英文でも毎日コツコツ読むことが重要です。共通テストでは読解をするだけだからこそ、積み重ねが大切です。

地理：地理の先生に頼んで週一で講習をして頂いていたので、その講習で分からなかったことや、もっと知りたいと思ったことを普段は勉強するようにしていました。日頃から地理に興味を持つようにしていたので、コーヒーを見た時に、「コーヒーといえばエチオピアのカフファ地方だな...」とかを常に考えていました。

理科：私は化学基礎と生物基礎を選択しましたので、「35日完成！大学共通テスト対策」シリーズを化学・生物基礎で使っていました。2科目しなくてはならなかったのですが、結構忙しかったのですが勉強を進めていくうちに科目どうしの繋がりや、共通点が感じられて楽しかったです。

勉強していると自分で考えても、分からないことが出てくると思います。一人で考えても無理な時は無理です。そんな時は先生や友人に尋ねましょう。特に先生方は詳しい解説を添えて教えて下さいます。困った時は誰かに相談してみるのもいいと思います。きっと助けてくれます、みんな、あなたの味方ですから。

46 期 近大付属看護専門学校（一般入試）

大阪警察病院看護専門（一般入試）

私は小学校5年生のころからずっと看護師になりたいと思っていました。希望する学校を決めたのは2年生の時です。夏休みにオープンキャンパスに行き、絶対にこの学校に行きたいと思ったのがきっかけです。ですが、私は勉強を毎日するのがすごく嫌いで、その時は行きたいという気持ちだけで、全然勉強していませんでした。3年生になって周りが指定校などで進路を決めている中、やっと自分のやばさに気づき、勉強を始めました。9月から塾に通い、現代文、数IAを勉強しました。でも私は体育祭で幹部がしたくて、9月10月は勉強そっちのけで体育祭の練習をしていました。体育祭が終わり本格的に勉強するようになり、今まで勉強してなかった分の差を埋めることに必死でした。結局、公募の試験は不合格ですごく悔しかったのを覚えています。

そこからは、一般試験に向けて他の学校も受験するために英語の勉強も増やし、毎日何時間も勉強しました。インスタを見れば、周りの友達は遊んでいてとても羨ましかったです。けれど、ここで遊んでしまったら以前と一緒だと思い、勉強を頑張りました。志望校の数学はすごくひねられた問題が多く、看護の参考書をすべて解き、センター試験の問題も解けるようになって、過去問の問題は全然解けないので、やる気をなくした時もありました。でもその度に先生に聞きに行ってくれ、たくさん教えてもらい、そのおかげで最後まで頑張ることができたと思っています。クラスの友達、先生、その他のたくさんの方に応援してもらい、合格することができたと思っています。様々な方に恩返しできるように学校に入ってもたくさん勉強して素敵な看護師になります。最後に、私は今まで全然勉強してこなかったのに、受験の経験ができて本当に良かったです。後輩のみんなも悔いのないように、第一志望に合格できるように頑張ってください。

46 期 関西大学 文学部 (指定校推薦入試)

私が後輩の皆さんに伝えたいことは、内申点の大事さです。指定校推薦では、評定がすべてといっても過言ではありません。もしも指定校推薦を取りたいと思っている後輩の方がいたら、少し私の話を読んでみてほしいです。

内申点とはつまり、成績です。指定校推薦では1年から3年の1学期までの成績が使われます。どれだけ高い評定平均があるかどうかで、行きたい進学先への可能性がかなり広がります。それぞれの進学先によって、資格の条件があったり、欠席数の条件があったりしますが、評定平均を高くすることは高校1年生から意識しておくべきことではないかと思います。私が評定平均を高くするためにしたことは、主に3つあります。

1つ目は、定期テストで手を抜かないことです。評定には定期テストの割合が多く含まれます。そのため、毎回の定期テストで上位を目指して頑張ることが大事だと思います。悪い点を一度とってしまうと決して指定校が取れないということではありません。私は数学が苦手で、欠点を取ってしまったこともあります。しかし、そこからの踏ん張りが大切でした。私はそこでやっとな危機感を覚え、苦手な数学を克服しました。これは数学が苦手な後輩へのプチアドバイスですが、授業で理解できなかった問題を放っておくことはだめです。わかるようになるまで気合で粘りましょう。後輩の皆さんも、苦手の1つや2つはあると思いますが、絶対に諦めないで頑張り続けて欲しいです。

2つ目は、提出物を完璧に出せるよう意識することです。提出物の点数は、苦手な教科や難しい教科でもきちんと提出すれば必ずもらえる点です。私もすべてを完璧に出せていたわけではありませんが、これを逃すことはもったいないと思います。また、当たり前のことですが、期日を守ることも、これも大事だと改めて思いました。

3つ目は、授業中の発言と出席点などです。私は中学まで授業中に手を挙げて発言することが恥ずかしくてすごく苦手でした。遅刻もよくしていました。けれど、授業に積極的に参加すると、加点がもらえたり、授業内容が記憶に定着しやすくなり、テスト勉強に有利になるなど、良いことばかりだと気づきました。これは、本当におすすめです。

以上3つが、私が在学中に主に意識していたことです。勉強の仕方には人それぞれあったやり方があるので、これはあるまで参考までに、自分にあったやり方を見つけてください。また、指定校推薦でどんな進学先があるかは、担任の先生を訪ねると昨年度のものを見ることが出来ます。私はこれを見て進学先を受験するために必要な資格を知ったので、皆さんも一度見てみることをおすすめします。長くなりましたが、これが指定校推薦を狙う皆さんの少しでも役に立てれば幸いです。ここまで読んでくださり、ありがとうございました。皆さんの高校生活が充実したものになりますように。